

「あなたこそ、わたしの賛美」

～ 賛美 5 W 1 H ～

詩篇 95 : 1 - 2

「あなたこそ、私の賛美だからです。」エレミヤ 17 : 14
今日は5つの「W」と1つの「H」をメインに賛美を考えていきましょう。

1. Who ? だれが?

詩 148 : 1 - 13 (ダビデのうた)

「～よ。」と書かれているのは賛美の奉仕者リストです。天において、地において…ものすごい奉仕者リストですね。イエス様がエルサレムに入場された時、子どもたちもしゅろの葉を振って賛美したのですが、それを見ていたパリサイ人が子どもたちを何とかしてくれるようにイエス様に言いました。けれどイエス様は「…『あなたは、幼子と乳飲み子たちの口に賛美を用意された。』とあるのを、あなたがたは読まなかったのですか。」(マタイ 23 : 16) と一喝されました。誰一人として賛美の奉仕者に該当しない人はいません。「息のあるものはみな、主をほめたたえよ。」詩 150 : 6

2. What ? 何を?

【主なる神】詩 96 : 4、詩 145 : 3 全知全能の神、万物の支配者だけが賛美されるべきお方です。賛美ではない一般の曲は、与えられている命、男女の愛、自分自身、将来、夢 etc…こういったものをほめたたえているものがほとんどです。けれど、これらのものはすべて神様から与えられたものです。その恵みの源である神様をまず私たちは賛美しなければなりません。【神のみわざ】①創造のみわざ…聖書における最初の賛美が書かれているのがヨブ記です。ヨブ記 38 : 4-7 をみると、神様が天地を創造された時、空の明けの星々が共に喜び歌い、神の子たちはみな喜び叫んだと書いてあります。②主は、私の救いとなられた…ア) モーセの歌 (出エ 15 : 1-18) モーセがイスラエルの民を率いてエジプトから脱出してきた時に目の前は葦の海、後ろからはエジプトの王パロと軍勢が押し寄せてくる…、絶体絶命の時に神様は海を2つに分けられたのでモーセたちはそこを進むことができました。そして、イスラエルの民が全員渡り終わった後に神様は海をもとに戻されたので追ってきていたエジプトの王パロとその軍勢は海の波にのまれて滅びました。こうして助けられたモーセが歌った歌です。ぜひ、この箇所を読んでみましょう。イ) ダビデの賛美 (詩 103 : 2) 私たちは神様から与えて頂いた恵み一つ一つを賛美することができます。③十字架の贖い (黙 5 : 12) …私たちは神様からの十字架の贖いを受けて礼拝の場に座っています。神様からのその豊かな恵みを賛美にのせて歌うことができる…、こんな幸せなことはありません。【ゴスペル (良い知らせ)】私たちは賛美で神様の良い知らせを賛美することができます。ある家からいつも聞こえてくる歌が気に入り、やがてその歌が讃美歌だとわかり、それから教会に導かれ救われたという方がおられます。私たちの生活の中にも自然に神様の賛美が溢れ出るといいですね。【イエス・キリストへの愛】短い英語の賛美をご紹介します。♪ Oh, How I love Jesus Bcause He first loves me (まあ！私はずっとイエス様を愛しているでしょう。なぜならイエス様がまず最初に私たちを愛してくれたから。)

3. When ? いつ?

【いつでも】詩 34 : 1 (ダビデの言葉) ①喜んでいる時 (ヤブ 5 : 13) 先ほどモーセの勝利の歌が出てきましたが、その後今度は女預言者のミリアムがタンバリンを手にとって踊りながら賛美をしています。まさに喜んでいる時です。②敵に直面した時 (II 歴代誌 20 : 21) …ヨシャパテというユダの王様はある戦いで大変な強敵に直面した時、なんとその敵を前に聖なる飾り物を着けた聖歌隊を立て、聖歌隊が歌う合図と共に敵に襲いかかり、ヨシャパテ王の軍勢が勝利を得ました。③渇いている時 (ヤブ 5 : 13) …モーセとイスラエルの民は渇いた時、神様の言われたように枯れた井戸を前に賛美をしました。すると井戸から水が湧き出ました。(民数 21:17-18) ④暗闇の時 (→確信を与えてくださる)…「アメージング・クレイス」の作詞者ジョン・ニュートンは奴隷船の船長でした。いつものようにアフリカからイギリスに奴隷を運んでいたある日、大変な嵐に遭い、沈没しそうな船の上でジョンは幼い頃に聞いたみことばを思い出し祈りました。そして奇跡的に一命をとりとめた時に彼の口

から出てきた詞が「アメージング・クレイス」だったのです。【いつまでも】詩 104 : 33 いのちのある限りいつまでも私たちは神様を賛美していきましょう。

4. Where ? どこで?

【神の聖所で】詩 149:1、II 歴代誌 5:13、詩 22:3 日曜日に会堂、神の聖所で兄弟と共にささげる賛美は最高です。神様は賛美の中に住んでおられます。礼拝での賛美は決して時間稼ぎやその場を和ませるものではありません。私たちが賛美をささげる時に神様はその場に臨在して下さるのです。【どこでも…そこは聖所となる】使徒 16 : 25 パウロとシラスは獄中という最悪な状態の中で賛美をしました。他の囚人達も聞き入っていたのですから素晴らしい賛美だったことでしょう。すると、大地震が起こり、獄舎の扉がすべて開き、皆の鎖が解けてしまいました。目を覚ました看守は皆が逃げてしまったと思い込んで自害しようとするが、「自害してはいけません。わたしたちは皆ここにいる。」とパウロは看守を守りました。そのことによって看守は救いを求め、時を移さずにして看守とその家族全員がバプテスマを受けました。

5. Why ? なぜ?

【DNA に組み込まれている一神は人類へ、音楽を与えられた。】神様は人間を創造されてからすぐに人間が生きていくための大切な3つの職業を言われました。一つ目は家畜を飼うもの。二つ目は青銅と鉄のあらゆる用具の鍛冶屋。そして三つ目が壺琴と笛を巧みに操る音楽家です。音楽は神様が人類に与えられた賜物であることがわかります。私たちは私たちが人間を創造してくださった神様を賛美するために造られました。【主の命令である】詩 81 : 1-4 賛美はしてもなくてもいいものではありません。しなければならぬ命令なのです。【約束を教えてください】「私のくちびるに賛美がわきあふれるようにしてください。あなたが私にみおきてを教えてください。」(詩 119 : 171)

6. How ? どうやって?

【感謝をもって】詩 147 : 7 私たちは溢れる感謝をもって賛美をささげることができます。【喜びをもって…暗い顔の賛美はNG】詩 81 : 1 賛美をおささげする時は喜びをもっておささげしましょう。【霊において…神は新しい歌を与えられる】I 卨 14 : 15 霊において賛美をする時にそれは私たちにとって新しい歌となります。何度も歌ったことのある賛美も私たちが霊で賛美をする時にそれは常に新しい歌になります。「新しい歌を主に向かって歌え。」(詩 33 : 3) 【一致して…心が一つとなった賛美】I 歴代 5 : 13 心が一つとなった賛美は本当に素晴らしいです。これからも一致してどんどん賛美していきましょう。【熟練した技術で…最高の賛美を主に！】I 歴代 25 : 7 常に神様に最高の賛美をささげたいという思いが大切です。そのために練習が必要ならばそれを一生懸命やらなさいといけません。そして、いつも神様に最高の賛美をささげましょう！【表現方法】大声で叫ぶ・踊る・手をたたく・頭をたれ、ひざまずく・種々の楽器を使う…。聖書には表現方法がたくさん書いてあります。

賛美は礼拝 (Sing → Praise → Worship)

私たちの歌 (Sing) は神様を礼拝する時に賛美 (Praise) になります。そしてその賛美は神様への礼拝 (Worship) となります。賛美が礼拝となった時にそれは本当の賛美となります。その礼拝の中でそれは宣教に、祈りにもなるでしょう。礼拝の中で神様は色々なことを私たちに教えて下さいます。賛美は真の礼拝に私たちを導きます。礼拝の行為が伴ってこそ私たちは本当に賛美をささげることができます。

(要約者: 全本 みどり)